



2021年3月5日(金)~6日(土)

## 安達太良山冬山リベンジ (1700m)

## Report by S.Abe

2018年3月に雪の安達太良山に登ろうとしたが、1日目は強風に阻まれ、岳温泉・光雲閣に宿泊。翌日リフトが動くのを待って薬師岳の上まで行つたが時間切れで撤退！今回はリベンジを果たした。

新型コロナの緊急事態宣言下、且つ2月13日に震度6強の福島沖地震が発生した為、予定の新幹線が1時間位遅くなり、光雲閣より上の奥岳へ行く県道が通行止め、平日でリフトが動かないなど悪条件が重なったが中島さんがどうしても登りたいと！（2日目は強風で天候悪化も見込まれた。他の4人は温泉とお酒が目的？）



3月5日(金)、東京駅に堀さん、  
池戸さん、吉松さん、中島さんが  
集合し、やまびこ123号  
(7:44AM発)に乗車。



行きの車内にて、吉松さん、中島さん、池戸さん、堀さん、の4人が集結。



大宮駅から安部の計5人が参加。  
電車はコロナ過もあって、3分の1程度の乗車。白河過ぎから徐行運転！

那須連山も雪は少ない！



途中は徐行運転。



郡山駅で在来線に乗り換え。



ジャンボタクシーが既に二本松駅前に待機。9:50 奥岳に向かって出発。

岳温泉から地震で通れない県道を迂回した。運転手の話では  
安達太良山麓の火山灰で出来た地形が今回は10年前の東北沖大地震  
より酷かったとのこと。

それ程時間も変わらずに 10:30 に奥岳の登山口に到着。

リフト売り場に行ったら平日は2本しか動かず、登山客は乗れないとのこと。





パトロールセンターで登山届を出し、アイゼンを装着。安部は今年初で、前後逆に付けようとして中島さんに手伝ってもらう羽目になった。時間が掛かり、堀さんからレストハウスで蕎麦食べて来るんだったと苦情が！

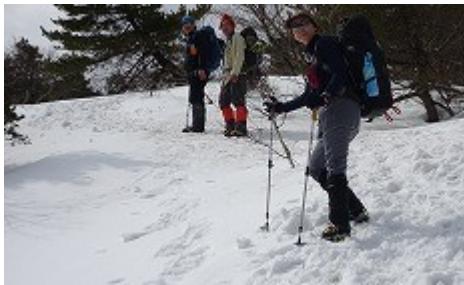


リフト脇を 10:30 に出発。雪は少ない。先頭は今回最年長の堀さん。五葉松平を目指す。



リフト休止中。スキー場は地震、コロナ過で本当に客が居ない！  
中島さんは今回こそ頂上を極めると足取りも軽い。吉松さんは悠々。安部は最初から遅れ気味。天気は快晴とはいかないが気温も高く春山登山の気分。





登山道はトレースが有り問題ないが時々踏み抜く！斜面も急になり喘ぎながら登る安部。  
心配そうに後ろを振り返る先週、先々週と泊まりの山歩きをしている余裕の池戸さん、吉松さん、中島さん！  
3年前のリフト上には1時間もかからず到着。



途中休みながら 12:10 に五葉松平到着。本当に風のない安達太良山です。  
薬師岳展望台（1350 m）で小休息。12:30。小屋には 16:00 迄到着しないといけないので『17:00 位になる！』  
と安部から連絡。小屋スタッフから『登山口に戻れないか？』（戻れ一一！と言う感じ）



仙女平分岐に来ると左上に安達太良山の乳首が見え始め、右上にくろがね山が！(13:30)

大分曇ってきたが風は無い！

20018年3月は風が強く頂上は吹き飛ばされそうとのことで薬師平から少し歩いた場所で撤退。

2020年10月は紅葉を求めてきたがガスが掛かりこの斜面は見ることが出来なかった！



2:11PMに安達太良山（1700m）に到着！



安達太良山の先端(乳首部)に登る。かなり急で堀さん、吉松さんは折角持ってきたピッケル、ストックも使わず仕舞。

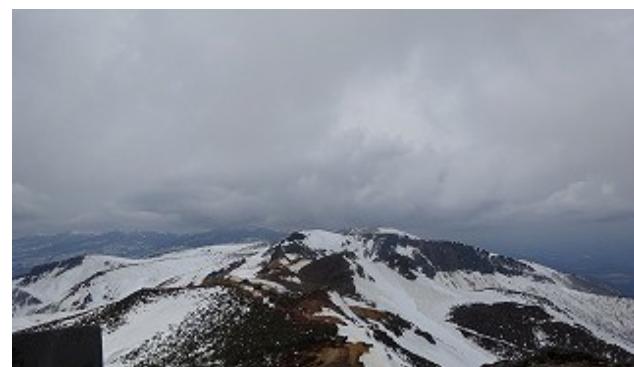
中島さんはへっぴり腰で登る。

2:25PM,最高峰（1706m位）に登頂！

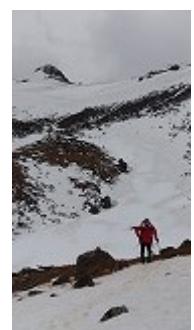


2月13日の地震で安達太良山標識の後ろにある祠の屋根が崩れていた。

曇天であったが遠く猪苗代湖や磐梯山、去年9月に登った吾妻連峰の一切経山、南に和尚山などの眺望が得られた！



2:30PM、くろがね小屋を目指し、峰の辻の急斜面を下降する。Topは中島さん！（アルコールが呼んでいるう～～～！）



雪の急斜面を下り切り、ほっと一息。2020年秋は小雨の中、紅葉を見ながらの所でした。



くろがね小屋が突然現れた。中島さんは既にアイゼンを脱ぐ。PM3:30 着。

山小屋に電話してた時、その電話を聞いていた人が『早いお着きでしたね！』山頂から約60分であった。

池戸さん曰く『ジジイが居たので遅くなると思った』と小屋の人に言ってた！（爺は誰かな？）

懐かしい山小屋、冬季は達磨ストーブ（燃料コークス）が有って暖か！



部屋割りは当初2号室と書いてあったので『絶壁登りの3階はヤダなあ！』といっていたら12号室の間違いとのこと。2階のストーブの煙突の西側の部屋！今回は階段の昇り降りが楽で『落下する人』は居なかつた！



早速乳白色の温泉に入り食前の『乾杯！』缶ビールと日本酒8合。堀さんと吉松さんが達磨ストーブでウルメ鰯を焼き始めたら、小屋のスタッフから即刻中止命令！！！（臭くなるから！場所をわきまえなさい！）



12号室約12畳か？ 奥に中島さん、次に安全な吉松さん、池戸さん、安部。

一番手前が堀さん！夜中に頭が逆転している人が2名！？吉松さんのシュラフは新品！



夕食はPM5:30から。名物のカレー十福神漬け（ラッキョウ付き）。旨いのでお腹がお酒で膨れた中島さんを含め、全員がお代わりをした。

配膳室にSONYのピッツバーグPlantのTシャツを着た御夫婦が居て1994年頃、ソニーケミカルから4～5年程赴任していたとのこと。車塚夫妻は定年後このくろがね小屋のスタッフをしているとのこと。池戸さん、安部ともPTG Plantは良く出張していたので懐かしい想い出である。

食後、再度かけ流し温泉に入り温まった。

PM8:00位からシュラフに入るが階下の泊り客の話し声が五月蠅くて寝れなかった。

それ程寒くは無かったが鼾が五月蠅かったり、夜中の強風の音が不気味で一時間毎に目を覚ます。

6日（土）は4時過ぎに起き出し、話をしていると『小声にして！』と注意される。

朝食はAM6:30。温泉卵、のり、煮物、漬物の一般的な食事。（福島ならもう少しお米の旨い物を！！）



朝8:20くろがね小屋前にて集合写真。去年那須の大黒屋旅館で働いていた若いお姉さんに撮ってもらう。

何故か皆がいい顔している。今年も秋も那須を計画しているので逢えればイイね！



くろがね小屋を出て5分、濃霧の中を下る。途中温泉でもあるのか雪のない場所。勢至平AM8:45着。気温6°Cもあって一寸トレスを外れると『ズボッ！』と太腿までもぐること数回。馬車道に出逢った後旧道（登山道）を歩く。



途中、晴れ間が現れる。リフト迄下りてきて『良い山だった!!』と中島さんと吉松さん。スキーフィールドは土曜日にも拘らず50人も居ないのではないかと思われる程閑散としていた。

山頂には雲がかかっているので強風が吹き荒れているだろう。

昨日登って良かった！！（AM10:00 奥岳の湯着。）



『奥岳の湯』にユッタリと入ってレストハウスに向かう吉松さんと池戸さん。勿論、Beerで乾杯！

堀さんは念願の『蕎麦』を食す！御歳に負けず大食漢であるのが頑丈&健康な証拠か？

帰りのジャンボタクシーの運転手は60代の女性！

山道を走ってくれて行きよりも安い運賃で走ってくれた。

地震の話やお米の美味しい炊き方を伝授してくれた。

（2合のお米に亜麻仁油又はオリーブ油を小匙一杯炊くときに入れると  
もちもちで冷めても美味しい←安部実践済み。おかまやシャモジにご飯が付かないのも嬉しいです！！！）

二本松 12:30PM 着。二本松発 12:43PM で郡山へ！

震災の影響でスペシャル50%割りで買った切符の発車時間は16:47であり、4時間近い待ち合わせになるので



みどりの窓口で交渉したら運よく1時間前のやまびこ142号へ変更できた。

みどりの窓口でGetしたティッシュPaper。（全員数個づつ。）

妻に申し訳程度のお土産に『柚餅子（ゆべし）』を購入。



郡山で行きつけの『湖穂里』に駆け込み打ち上げをする。

馬刺しや明太子、板わさ、刺身。お酒は『大七、生酛』、『奥の松吟醸』、『会津栄泉吟醸酒』

4合瓶 x 3本=1.2升 ！！！

閉めは『お蕎麦』！勿論、堀さんは昼食 x 2回目のお蕎麦でした！お見事！



『湖穂里』で約2時間半飲み食いしたあと、

やまびこ 142号郡山 15:47⇒16:58 大宮（安部下車）⇒17:16 東京で帰着。

電車の乗客はガラガラ。流石にみんなが眠りこけた！

中島さんにしてもう安達太良山はいいや！（安部はもう行くのは無理だなあ！）

この日関東の気温は21°C！！！暖かな一日でした！（完）